

当報告の内容は著者の著作物です。

Perl ワークショップ

開催日時：平成 22 年 12 月 4 日（土曜日）午前 10 時 30 分～午後 5 時

開催場所：AA 研 3 階マルチメディアセミナー室(306 室)

講師：梅川通久（AA 研特任研究員）

ワークショップ概要：

フィールド言語学・テクニカルワークショップシリーズ、2010 年度第 3 回目として行われた本ワークショップは、プログラミング言語 Perl の入門的な内容を扱った。プログラミング言語の用途のうち文系研究者に比較的なじみやすいものとして、文字列データの処理がある。たとえば、テキストデータを電子化し、一定のフォーマットに整形することで、参照・検索・再加工といった後々の利用が容易になる。しかし、手作業で検索・置換を繰り返して整形を行なうのは時間と手間がかかり、またエラーが生じやすいものである。このような場合に、一連の検索・置換の手続きを記したプログラム（スクリプト）を作っておけば、簡便で確実、しかも繰り返し処理を行うことが可能となり、作業の効率は格段に良くなる。Perl はこうした文字列データの処理を行うのに適したプログラミング言語の一つである。本ワークショップでは、そのインストールからテキストデータを処理する簡単なスクリプトの作成までを扱い、プログラミング未経験者でも Perl を動かせるようになることを目指した。

ワークショップ受講者は大学院修士課程・博士課程の学生を中心とする 7 名。プログラムは以下のとおりであった。

- (1) 10:30-11:00 Perl について
- (2) 11:00-11:30 実習の準備（ソフトウェアのインストール）
- (3) 11:30-13:00 Perl プログラムの基礎
- (4) 14:00-15:30 少し発展
- (5) 16:00-17:00 テキスト処理の実践

受講者からの感想：

ワークショップ終了後、受講者から次のような感想が寄せられた。

- ワークショップに参加して良かった点
 - Perl について少し分かるようになった点が良かった。
 - プログラミングの初歩を学ぶことができた点が良かった。
 - 全く知らなかった Perl ですが、何か分かった気になりました。今までは開いた瞬間に閉じたくなった参考書を、今後は読むこともできそうです。
 - 独学だと実際にどのように Perl を使うのか想像できなかつたので、テキストを扱いながら勉強できたことは非常に有意義だと感じました。
 - 一人では手をつける気にならないテーマだったが、いろいろな人と一緒だったので楽しく勉強できた。
 - 何度か Perl 等、プログラミング言語の講義を受けたことがありますが、今回ほど整理されてまとまった内容のお話を聞くことができたのははじめてです。自分でも簡単な作業くらいはやってみようかという気になりました。
 - なかなか独学では難しかったので、このようなワークショップが（しかも入門的なのが）あってとても良かったです。
 - Perl の基礎の基礎もしっかり勉強できて良かった。まだ自分自身でスクリプトを組める自信はないが、読み方等が理解できるようになったと思う。
 - 手を動かしながら、実地に慣れることができとてもありがたかった。本などで独学したいと思っていたが、ゼロから独学するのは大変だと思っていたところ、貴重な機会を頂けて感謝しております。サポート体制も充実していて、講師の先生以外に見回ってくださる先生方がいてくださって、大変助かりました。（まだ各コマンドの組み合わせの意味が全て分っているわけではなく、今日のプログラムが自分でゼロから作れるわけではないけれど、復習と慣れの課程で分かっていくのかなという気がしています。）

- ワークショップで改善すべき点
 - 午前中も休憩時間を設けてもいいと思いました。
 - 参加者それぞれの個別相談にのっていただけるとうれしいです。悩みは人それぞれだと思うので。

- Perl 等を使って行ってみたいテキスト処理について
 - Kwic 検索
 - 特定の構文を文脈付きで集める。
 - 文字転写（インド系の文字などをラテン文字に一括転写）

- 複数ファイルに渡る検索（今日の勉強で簡単にできそうな気がしてきました。）
- 複数ファイルの一括処理
- コーパスからの語彙集づくり

報告書作成：長崎郁（AA 研特任研究員）